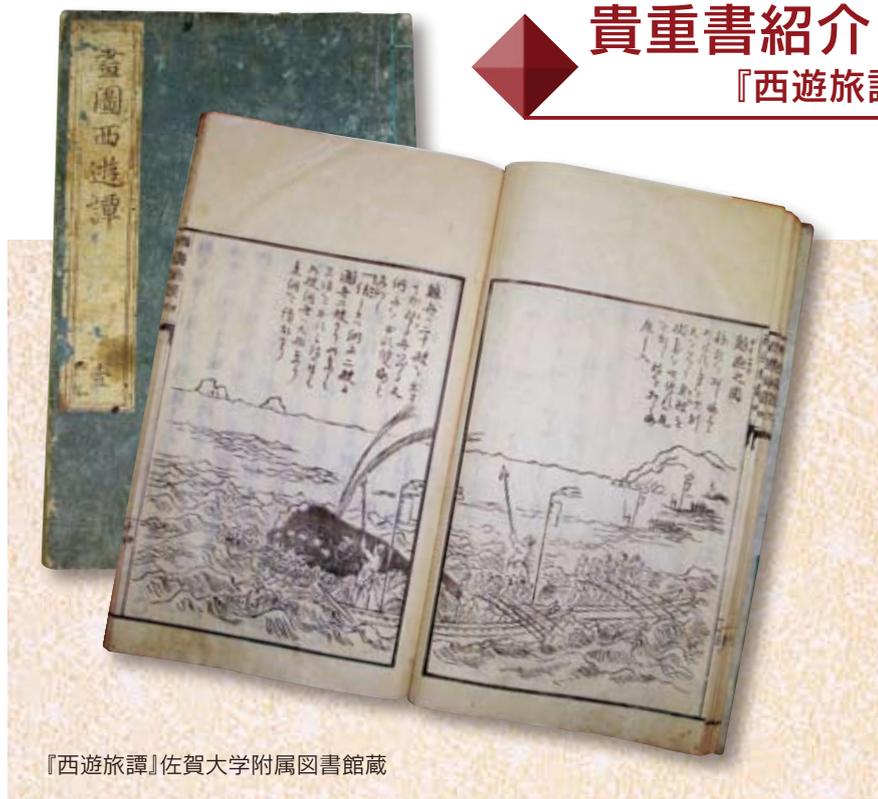


貴重書紹介

『西遊旅譚』（洋学資料コレクション）



『西遊旅譚』佐賀大学附属図書館蔵

解説

『西遊旅譚』は、洋画家で蘭学者司馬江漢(1747～1818)が書いた、天明8年(1788)4月から翌年4月までの長崎への旅記録。寛政6年(1794)刊行。佐賀、嬉野を通過して長崎に至り、オランダ船や異国情緒に触れた江漢は、帰路、平戸の生月島で勇壮な捕鯨に出会う。捕鯨の勇壮さに感動した江漢は、鯨解体の様子なども詳細に描いている。当時、生月島は西日本でも最大級の捕鯨基地だった。

(地域学歴史文化研究センター教授 青木歳幸)